

TEGOネットだより浜田

「てご」とは、方言で「手伝う（支援する）」という意味です。

平成21年12月9日 第31号
浜田市農林業支援センター

はじめに

政権交代による行政刷新会議の「事業仕分け」が注目を集めました。戸別所得補償制度をはじめとする不確定部分の多さ、情報不足により困惑されていることと思います。当支援センターの事業も大きな影響を受ける可能性があり、最新の情報が入り次第お伝えするつもりです。

今年もお世話になりました。来年もよろしくお願いします。(浜田市農林業支援センター長 齋藤 實)

1. 各支援チームからの話題

新規就農支援チーム (担当: 前原・塚本)

青年農業者の確保・育成に向けて

11月19日に鳥根県と県農業振興公社、農業大学校、益田翔陽高校、そして浜田・益田地区の担い手支援機関の担当者が一同に会し、青年農業者の確保・育成に向けた意見交換を行いました。

学校現場では「自立就農が目標だが、まずは先進農家で技術を磨きたい」という学生の思いに反し、**雇用就農の受皿が少ない**ことが課題となっているようです。また、現在、浜田市独自の研修制度をはじめ、各市町が様々な就農支援を展開していますが、出席者からは「就農希望者一人ひとりの要望に応えるためには情報や制度を整理し、**就農に至るまでの一貫した支援**を行う必要がある」という意見が出ました。これからもこのような話し合いを重ねることで、就農支援体制の強化を図っていければと思います。

認定農業者支援チーム (担当: 松井・前原)

認定農業者が誕生しました



支援センターの職員と協議する中下祐介さん(左)

浜田市に新たな認定農業者が誕生しました。

まずは、養蜂と果樹(桃など)を主体とする**中山農園株式会社**です。これまでは個人経営でしたが、11月2日に法人化。代表取締役の中山正さんは「支援制度を活用して経営規模を拡大したい」と話されています。

もう1人は**中下祐介さん**です。今年4月に県立農業大学校を卒業したばかりの中下さんは、20歳という若さながら、来年度から金城町の浜田市有農業団地「**新開団地**」においてピオーネと露地野菜の経営を開始される予定です。現在は、きんた農園ベリーネ(有限会社KKN)で研修を受けるかたわら、当支援センターの職員と事業計画に関する協議を重ねておられます。

大きな夢に向かって挑戦を続ける中山さんと中下さん。将来の飛躍が楽しみです。

集落営農組織支援チーム (担当: 森井・鎌原)

集落営農法人の研修会を開催しました

11月11日に集落営農の法人組織を対象とする先進地視察研修会を開催したところ、法人の代表理事を中心に18名の参加がありました。

午前中は、広島県北広島町の「**農事組合法人うづつき**」を視察。中山間地域にありながら、平成18年度に全国優良担い手表彰において農林水産大臣賞を受賞された同法人は、**若者や農地の受け皿となり、若者が安心して農業を学べる環境を作り、部門別の責任者を置いて次の世代を育てていく活動**

展開されていました。

午後からは、当支援センターが浜田市佐野町に設置している「**センチピードグラス種子吹き付け実証圃**」を会場に、種子を直接吹き付ける技術の開発者である(有)だるま製紙所の渡森社長を講師に招き、畦畔除草省力化の研修を行いました。

参加された皆さんは、中山間地域の課題である「後継者問題」と「畦畔除草対策」を解決するヒントを見出されたことと思います。



2. 有機露地野菜の先進農家を視察しました

11月14日、「いわみ地方有機野菜の会」とともに岡山県総社市を訪れ、**にんじんの有機栽培**で知られる(有)吉備路オーガニックワークの圃場と出荷調製施設を見学しました。

案内してくださった香西達夫代表によると、同社の年間作付面積は延べ5haで、年間出荷量は約120tだそうです。有機露地野菜の作型確立を目指す「有機野菜の会」の皆さんは、栽培管理について事細かに質問したり、作業に必要な機械を熱心に見ておられました。

20年以上に渡って有機農業に取り組んできた香西代表から技術面や販売面での指導や助言をいただき、有意義な視察となりました。



3. 「全国農業担い手サミット in 埼玉」に参加しました

11月17日・18日に埼玉県で『全国農業担い手サミット』が開催され、全国から約2,200人が集まりました。

初日の全体会では、皇太子殿下ご臨席のもと、優良担い手表彰や先進的な農業を实践する経営体の活動報告があり、**安全安心・環境への配慮 消費者の需要動向に対する努力 先駆的な新しい技術の導入 地域との共存（人材・後継者育成） 経営改善の目標に向かって追求する** という5つの視点が経営発展の基本であるとまとめられました。

全体会終了後は、翌18日にかけて、埼玉県内の8つの地域において地域交流会（情報交流会と現地研修会）が開かれ、情報交換や交流を深める場となりました。

来年のサミットは島根県で開催され、浜田市も地域交流会の会場となる予定です。全国の担い手農家を温かくお迎えし、浜田の個性や魅力を伝えることができるように準備を進めていきます。



4. 「西条柿生産組合」の販売促進イベントについて

グリーンフェスタはまだ（11月8日：浜田会場 / 写真右）、平原柿まつり（11月15日：三隅会場 / 写真左）の両イベント会場で、**西条柿生産組合**による販売促進イベントが実施されました。

今年は天候不良などにより収量が減った西条柿ですが、大玉で選りすぐりの生果は上品な甘さが大変好評でした。

また、浜田会場では地元の食品加工業者が「柿アイスクリーム」や「柿ボール（天ぷら）」を販売。三隅会場では「収穫体験」や「柿の種飛ばし」といった参加コーナーが人気で、秋の味覚を堪能していただく楽しいイベントとなりました。



5. 「農業経営の法人化・運営等個別相談会」が開催されます

島根県担い手育成総合支援協議会の経営コンサルタントによる個別相談会が開催されます。**農業生産法人や、法人設立を目指している農業者や集落営農組織**などを対象としています。参加を希望される方は**12月25日(金)までに** 当支援センターにご連絡ください。〔担当：松井・森井〕

開催日：1月22日(金) 会場：浜田合同庁舎
コンサルタント：竹中衛税理士、足立修司中小企業診断士

当情報誌は新規就農者、認定農業者、集落営農組織と関係機関の皆様にご配信中です。
ご意見、掲載要望、または配信停止をご希望される場合は下記までご連絡ください。

発行元 浜田市農林業支援センター

〒697-0024 島根県浜田市黒川町 3741 (JAいわみ中央本所分館 2階)

TEL：0855-22-3500 FAX：0855-22-3477 E-mail：n-shien@city.hamada.shimane.jp